



2025年3月期 第3四半期決算短信（日本基準）（連結）

2025年2月13日

上場会社名 北海道中央バス株式会社
コード番号 9085 URL <https://www.chuo-bus.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 札
TEL 0134-24-1111

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	25,684	6.2	306	—	548	—	139	—
2024年3月期第3四半期	24,173	0.9	△215	—	△1	—	△212	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	53.18	—
2024年3月期第3四半期	△81.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	37,827	27,547	72.4
2024年3月期	37,150	27,844	73.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 27,382百万円 2024年3月期 27,370百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2025年3月期	—	—	—		
2025年3月期（予想）				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2025年3月期の配当予想については、未定としております。

3. 2025年 3月期の連結業績予想（2024年 4月 1日～2025年 3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,400	4.6	1,500	28.3	1,800	23.0	1,100	16.9	420.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 — 社 (社名) , 除外 1 社 (社名) 中央バスビジネスサービス(株)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	3,146,000 株	2024年3月期	3,146,000 株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	529,714 株	2024年3月期	529,581 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	2,616,359 株	2024年3月期3Q	2,616,482 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結範囲の重要な変更に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中、緩やかに回復しました。道内の経済においては、個人消費に一部弱めの動きがみられるものの、観光需要が増加するなど、緩やかに回復しました。

一方では、原材料価格の上昇や深刻な人手不足の状況が続くなど、依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高は25,684百万円（対前年同期比6.2%増）、営業利益は306百万円（前年同期は215百万円の営業損失）、経常利益は548百万円（前年同期は1百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は139百万円（前年同期は212百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 旅客自動車運送事業

乗合運送事業は、札幌市内線などにおいて、2024年12月1日に運賃改定を実施しました。

2024年4月1日及び12月1日のダイヤ改正においては、人員不足などにより、札幌圏を中心に路線の廃止、減便などを実施しました。

貸切運送事業は、一般団体の受注が増加しました。

この結果、旅客自動車運送事業全体として、売上高は13,405百万円（対前年同期比0.5%増）、バス燃料費の減少などがありましたが58百万円の営業損失（前年同期は294百万円の営業損失）となりました。

② 建設業

建設業は、道内の公共投資や民間設備投資が増加する中、完成工事高が増加しました。

この結果、売上高は8,593百万円（対前年同期比12.5%増）、営業利益は448百万円（同164.5%増）となりました。

③ 清掃業・警備業

清掃業・警備業は、解約などにより、減収となりました。

この結果、売上高は2,523百万円（対前年同期比1.3%減）、営業利益は135百万円（同3.2%減）となりました。

④ 不動産事業

不動産事業は、新規賃貸契約の獲得などにより、増収となりました。

この結果、売上高は608百万円（対前年同期比3.9%増）、営業利益は206百万円（同2.9%増）となりました。

⑤ 観光関連事業

ニセコアンヌプリ国際スキー場は、外国人利用客が増加する中、リフト料金を改定するとともに、レストランの夜間営業を開始しました。

小樽天狗山スキー場は、メディア露出効果に加え、クルーズ客船の小樽港への寄港回数が増加したこともあり、ロープウェイ利用客が増加しました。

ニセコ温泉郷「いこいの湯宿いろは」は、前年に実施されていた全国旅行支援事業がなくなったことが影響し、利用客が減少しました。

砂川ハイウェイオアシス館は、イベントを開催するなど集客に努めました。ワイン&カフェレストラン「小樽バイン」は、プロバスケットボールチーム「レバンガ北海道」とのコラボメニューを提供しました。また、旅行業は、町長がガイドを務める地域と連携したツアーなどを実施し、増収に努めました。

この結果、観光関連事業全体として、売上高は1,398百万円（対前年同期比13.8%増）、本格的なスキーシーズン前ということもあり、322百万円の営業損失（前年同期は388百万円の営業損失）となりました。

なお、当セグメントは、スキー場の営業が冬期間中心であるため、第4四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる季節的変動があります。

⑥ その他の事業

物品販売業は、商品の取扱いが増加しました。自動車教習所は、入校生が増加しました。介護福祉事業は、2024年6月に、サービス付き高齢者向け住宅3棟目となる「マイラシック手宮」を小樽市内に開業しました。

その他の事業全体として、売上高は1,767百万円（対前年同期比2.0%増）、介護福祉事業の開業時の費用もあり、12百万円の営業損失（前年同期は13百万円の営業損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は37,827百万円で、前連結会計年度末と比べ677百万円(1.8%)の増加となりました。これは、有形固定資産の合計額が595百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は10,280百万円で、前連結会計年度末と比べ974百万円(10.5%)の増加となりました。これは、固定負債のその他が610百万円、支払手形及び買掛金が503百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

純資産合計は27,547百万円で、前連結会計年度末と比べ297百万円(1.1%)の減少となりました。これは、非支配株主持分が309百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2024年5月15日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしました。

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	35,650	700	850	450	171.99
今回修正予想 (B)	35,400	1,500	1,800	1,100	420.44
増減額 (B - A)	△250	800	950	650	—
増減率 (%)	△0.7	114.3	111.8	144.4	—
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	33,838	1,169	1,463	941	359.72

修正の理由

売上高は、受注競争の激化により建設業の完成工事高が減少することなどにより、前回予想を下回るものであります。

上記売上高の減少要因があるものの、運送事業において修繕費など費用の減少や、建設業において原価管理を徹底したことによる工事原価の減少を見込むことなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想を上回るものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,652,216	6,268,703
受取手形、売掛金及び契約資産	4,167,885	5,290,908
有価証券	2,500,000	1,525,011
商品	22,472	31,973
原材料及び貯蔵品	187,247	240,106
未成工事支出金	43,453	190,131
その他	259,516	882,585
貸倒引当金	△3,675	△5,165
流動資産合計	14,829,116	14,424,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,005,623	21,480,934
減価償却累計額	△16,717,340	△16,511,629
建物及び構築物（純額）	4,288,282	4,969,304
車両運搬具	26,202,109	26,702,055
減価償却累計額	△24,120,770	△24,245,875
車両運搬具（純額）	2,081,338	2,456,179
土地	9,772,983	9,763,818
その他	5,754,403	5,353,481
減価償却累計額	△4,332,340	△4,382,783
その他（純額）	1,422,062	970,698
有形固定資産合計	17,564,667	18,160,001
無形固定資産	154,255	138,127
投資その他の資産		
投資有価証券	4,197,401	4,725,880
その他	411,445	386,042
貸倒引当金	△6,408	△6,418
投資その他の資産合計	4,602,438	5,105,504
固定資産合計	22,321,361	23,403,633
資産合計	37,150,477	37,827,888

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,917,923	2,421,595
未払法人税等	277,530	183,235
賞与引当金	230,655	108,558
その他の引当金	5,214	5,500
その他	2,700,966	2,829,424
流動負債合計	5,132,290	5,548,316
固定負債		
退職給付に係る負債	2,494,919	2,453,091
役員退職慰労引当金	349,491	339,442
その他	1,329,124	1,939,714
固定負債合計	4,173,534	4,732,248
負債合計	9,305,824	10,280,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,100,000	2,100,000
資本剰余金	759,341	759,341
利益剰余金	24,982,525	24,980,719
自己株式	△1,219,934	△1,220,350
株主資本合計	26,621,933	26,619,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	851,710	818,211
退職給付に係る調整累計額	△103,058	△55,111
その他の包括利益累計額合計	748,652	763,099
非支配株主持分	474,067	164,513
純資産合計	27,844,652	27,547,323
負債純資産合計	37,150,477	37,827,888

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	24,173,786	25,684,346
売上原価	22,116,179	22,865,398
売上総利益	2,057,607	2,818,948
販売費及び一般管理費	2,273,597	2,512,054
営業利益又は営業損失(△)	△215,989	306,893
営業外収益		
受取配当金	85,293	91,036
持分法による投資利益	27,532	97,624
その他	104,229	55,812
営業外収益合計	217,055	244,473
営業外費用		
支払手数料	2,033	2,934
その他	194	195
営業外費用合計	2,227	3,129
経常利益又は経常損失(△)	△1,161	548,237
特別利益		
固定資産売却益	46,400	3,969
投資有価証券売却益	10,057	5,000
その他	7,166	280
特別利益合計	63,624	9,249
特別損失		
固定資産除売却損	71,202	179,939
その他	1,140	13,202
特別損失合計	72,342	193,141
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△9,879	364,344
法人税、住民税及び事業税	174,614	267,706
法人税等調整額	50,738	△44,981
法人税等合計	225,352	222,725
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△235,232	141,619
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△22,941	2,476
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△212,291	139,143

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△235,232	141,619
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	266,535	△28,094
退職給付に係る調整額	59,605	47,946
持分法適用会社に対する持分相当額	36,435	△5,769
その他の包括利益合計	362,576	14,082
四半期包括利益	127,344	155,702
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	149,933	153,590
非支配株主に係る四半期包括利益	△22,589	2,111

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結範囲の重要な変更に関する注記)

連結子会社であった中央バスビジネスサービス(株)を、当社が2024年4月1日付で吸収合併したことに伴い、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更に関する注記)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる、前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	旅客自動車 運送事業	建設業	清掃業・ 警備業	不動産事業	観光関連 事業	その他の 事業	合計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	13,259,408	6,807,598	1,482,831	335,008	1,224,002	1,064,936	24,173,786	—	24,173,786
セグメント間の内部 売上高又は振替高	81,597	830,277	1,074,419	250,585	4,645	667,375	2,908,900	△2,908,900	—
計	13,341,005	7,637,876	2,557,250	585,593	1,228,648	1,732,312	27,082,687	△2,908,900	24,173,786
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△294,163	169,616	140,362	200,771	△388,581	△13,664	△185,659	△30,330	△215,989

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

金額の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	旅客自動車 運送事業	建設業	清掃業・ 警備業	不動産事業	観光関連 事業	その他の 事業	合計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	13,331,353	8,085,718	1,457,440	345,163	1,393,818	1,070,852	25,684,346	—	25,684,346
セグメント間の内部 売上高又は振替高	74,446	508,059	1,066,495	263,467	4,924	696,457	2,613,850	△2,613,850	—
計	13,405,800	8,593,777	2,523,935	608,631	1,398,742	1,767,310	28,298,197	△2,613,850	25,684,346
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△58,974	448,555	135,802	206,517	△322,339	△12,468	397,093	△90,199	306,893

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

金額の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、以下の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,097,986千円	1,050,118千円